



## 盛岡市プレスリリース

～ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡～

令和6年9月24日

盛岡市教育委員会  
中央公民館

市政記者クラブ加盟社 各位

### 企画展「地元商人と盛岡の発展～中村家の明治・大正・昭和初期の資料から～」を開催しています

盛岡市中央公民館では、盛岡市中央公民館敷地内に移築された重要文化財「旧中村家住宅」の理解を深めるため、盛岡市が中村家から寄贈を受けた資料のうち、明治・大正・昭和初期に関係する商売道具及び文書資料を展示しています。今回の展示においては、中村家の商売道具の展示のほか、今まで展示の機会がなかった文書資料を紹介しながら、明治・大正・昭和初期の盛岡市の発展に尽力した地元商人としての功績を解説し、盛岡市の歴史に触れてもらうことを目的として開催しています。

#### 記

【事業名】 地元商人と盛岡の発展～中村家の明治・大正・昭和初期の資料から～

【日 時】 令和6年9月22日（日）～10月6日（日）  
9：00～17：00（最終日のみ9：00～15：00）  
9月24日（火）、30日（月）休館

【場 所】 盛岡市中央公民館 企画展示室

【内 容】 中央公民館内に所在する旧中村家住宅に関する当館所蔵資料の展示・公開

【費 用】 入場無料

【主 催】 盛岡市中央公民館

【添付資料】 チラシ

#### 【問い合わせ】

盛岡市中央公民館 事業係  
担当：学芸主査 山本（やまもと）  
TEL：019-654-5366

令和6年度盛岡市中央公民館企画展示事業

# 地元商人と盛岡の発展

～中村家の明治・大正・昭和初期の資料から～



入場無料

開催期間：令和6年9月22日（日）  
～10月6日（日）

開催時間：9時～17時（最終日は15時）

於：盛岡市中央公民館 企画展示室

中央公民館敷地内に所在する旧中村家住宅について、中村家は江戸時代からの豪商として名を知られることから、江戸時代の姿が注目されることが多いですが、明治大正期には市の有力者として経済界・政界においての活動も顕著でした。

今回の展示においては、中村家の商売道具の展示のほか、今回が初の展示機会となる文書資料についても紹介しながら、明治・大正・昭和初期の盛岡市の発展に尽力した地元商人の姿に触れていきたいと思ひます。

#### ◆ 旧中村家住宅について

中村家は、「糸屋」または「糸治」と呼ばれた城下町盛岡でもゆびおりの大きな商家で、呉服・古着などをおもに商っていました。

初代は、遠野市(旧宮守村)の出身で天明2年(1782年)から盛岡で商売を始め、二代目のときから「糸屋」と称しました。その後、盛岡藩の特産である紫根染を一手に商うなどして成長しました。

建物は、たびたび改築や修理が行われ、現在の主屋は文久元年(1861年)に造られたものです。また、土蔵は明治の建築ですが、主屋と機能的にも景観のうえからも切りはなせないものとして、同時に重要文化財に指定されました。

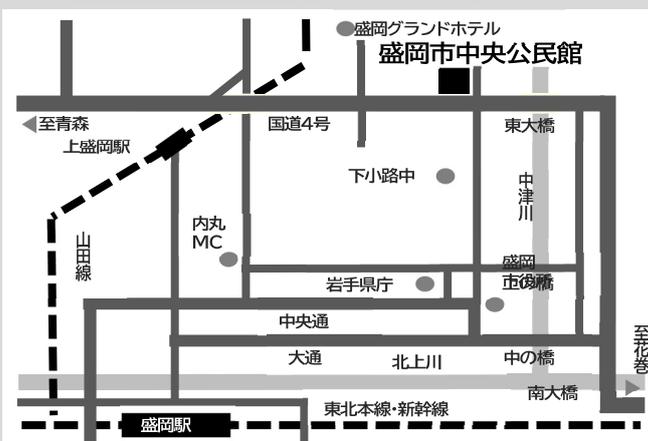
この建物は、戸棚や押入れが多く造られるなど江戸時代末期の特色がよく残されています。増改築の多い商家が原形をとどめている例はきわめて珍しく、重要文化財の商家としては、東北では数少ないものの一つです。

盛岡市では、昭和46年(1971年)にもとの所有者中村七三氏からこの建物と共に文献や家具などの寄贈を受けて、文化庁に調査を依頼し、同年12月に重要文化財の指定を受けました。移築復元工事は、昭和47年(1972年)4月から49年(1974年)3月まで行われ、防災工事も同時に行われました。

旧所在地 盛岡市南大通二丁目8番5号

(旧町名は新穀町)

管理者 盛岡市教育委員会



#### 盛岡市中央公民館 (月曜休館)

〒020-0013 盛岡市愛宕町14番1号

電話:019-654-5366 FAX:019-653-3505

Mail : chuo.ph@city.morioka.iwate.jp